

## 8-1-4 対外活動委員会WG（道路会社）

### 1. 対外活動委員会 WG（道路会社）の概要

#### (1) WG（道路会社）の活動目的

毎年度、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)、及び首都高速道路(株)との意見交換会のために、建設コンサルタントの現状と課題を踏まえて、道路会社に対する「要望と提案」とその根拠資料としての【付属資料】を作成する。

#### (2) WG の構成（委員）

WG 長には対外活動委員会副委員長があたり、対外活動委員会から道路会社担当委員 2 名、技術部会から道路専門委員会、道路構造物専門委員会、施工管理専門委員会の委員長・委員を中心にメンバーを選出し、10 名程度の体制での WG 構成とする。

### 2. 主な活動の記録

#### (1) WG の開催

平成29年8月9日に第1回WG、9月22日に第2回WGを開催した。各専門委員会で実態調査・意見集約した結果や、別途実施されている道路会社業務検討WGによる発注者との実務者検討会での検討課題等を整理し、各道路会社向け「要望と提案」および【付属資料】を検討・作成した。

#### (2) 対外活動委員会での協議

上記WGで検討した「要望と提案」および【付属資料】については、10月と12月の対活・白書合同委員会で協議して、内容を詰めた。

#### (3) 意見交換会の開催

平成29年度において、4つの道路会社との意見交換会は以下の日時で開催された。

12月 4日：首都高速道路(株)

12月18日：西日本高速道路(株)

12月20日：東日本高速道路(株)

12月25日：中日本高速道路(株)

### 3. 各道路会社向け「要望と提案」の骨子

意見交換会に用いた「要望と提案」は以下のとおりである。

#### I. 魅力ある建設コンサルタントに向けた担い手の育成・確保のための環境整備

- 企業経営の安定と処遇改善に向けての環境整備(東・中・西)
- 受発注者協働による生産性向上と就業環境改善に向けての取組み強化(東・中・西)
- 「ノー残業デー」の推進、就業時間外の業務打合せの抑制など、受発注者協働による健全な労働環境の創出(首)
- より魅力ある職業としての確立(人材の育成・確保の環境整備)(東・西)するためのインセンティブの付与(中)
- 大規模更新における建設コンサルタントの活用方法の継続検討(首)
- 若手技術者・女性技術者の活用・育成のための入札・契約制度の工夫改善の推進(首)

#### II. 技術力による選定

- より明確な業務内容種別に応じた入札方式選定適用基準の公表(東)
- 低価格入札の防止対策の運用強化(東・西)
- 不当廉売の排除に向けた低入札対策の適正な運用の強化(中)
- プロポーザル方式の(引き続きの(首))拡大(東・西)
- 適正な技術力評価の推進に向けたプロポーザル方式の拡大(中)
- プロポーザル方式・総合評価方式等の適確な運用・改善(東・西)
- 入札手続きの改善による適切な選定(東)
- 業務内容種別に応じた入札方式選定適用基準の公表(東)

#### III. 品質の確保・向上

- 受発注者それぞれの役割を踏まえた業務改善(東・中・西)(エラー防止(首))への取組み
- 品質確保のための適正な報酬の設定(首)
- 三者会議等の一層の活用による受発注者協働の総合的な品質・工程の確保(東・中)
- 維持管理・更新事業(特定更新含む)における建設コンサルタントの役割(点検・診断、修繕・更新設計、施工管理等)を踏まえた業務システム改善(東・西)
- 維持管理・更新事業(特定更新含む)における建設コンサルタントの活用(中)

#### IV. 施工管理業務の改善((首)はなし)

- 生産性向上と就業環境の改善、大規模修繕・更新計画など将来事業計画の公表、3～5年程度の事業規模見通しの公表(特に保全関係)、施工管理業務の中期計画のさらなる公表、さらなる若手施工管理員登用方策の検討等

### 4. 次年度の活動について

次年度も、今年度と同様の活動を継続する。

(対外活動委員会WG（道路会社）WG長

三百田 敏夫)